

令和6年度 広報委員会 視察報告書

1. 視察日程

令和6年8月1日（木）

2. 視察先及び視察事項

山梨県南アルプス市「市民と議会を結ぶ情報誌」

3. 視察参加者

委員長 勝間田幹也

副委員長 池谷 晴一

委員 高木 理文 森 順 後藤 真弥

小林 昌美 横山 大 辻川 公子

高村 芳章 小林恵美子 勝又 正人

事務局 桐生 守（議事課主幹） 渡邊一二司（議事課主任）

4. 視察先対応者

南アルプス市議会 議会だより編集委員会委員長 河野 木綿子 様

5. 視察の内容

目 的

市議会に対する市民の関心度向上による、開かれた議会を目指す。

視察先の概要

面積：264.14㎡ 人口：71,630人 議員定数：22名

県の西部に位置し、2003年4町2村が合併して発足した全国唯一のカタカナ市名の市。

果樹栽培が盛んに行われ、ブドウや桃も国内有数の産地で、スモモの産出額は国内1位

議会は、3常任委員会の他議会運営委員会、議会だより編集委員会

研修内容

議会だよりの編集内容、経費等についてや表紙の写真についての説明を受けた。

市民アンケートの実施や結果の掲載について伺った。議長を除く全議員が所属する広報広聴委員会を設置しており、この委員会は、広報部会 11 名と広聴部会 10 名に分かれ、議会だよりの編集は広報部会所属の編集委員会が行っている。山梨県の広報紙コンクールにおいて最優秀賞を受賞した第 82 号についての作成までの経緯を伺った。

また、とびだせ議会として「市民活動フェスタ」に参加し、議員紹介パネル展示やクイズなどを行って、議員活動を直接市民に P R するとともに、開かれた議会をめざしており、その活動内容も伺った。

考 察

南アルプス市議会は、議会改革の検討を進めていく中で、市議会だよりを市民と議会の重要な接点として捉え、分かりやすく見やすい広報誌を目指している。その中で参考になった取組は、以下のとおりである。

- ・表紙に市内にある貴重な文化財をテーマとして、市民が興味を持ち、目を引く表紙となっている。
- ・市民からの「ひ・と・こ・と」を掲載し、議員が直接市民に取材し、写真・実名入りで市民の意見を掲載している。
- ・市民フェスタに議会ブースを設け、直接市民からの意見や質問に答える取組をしている。
- ・政務活動報告や政務活動費の使途などを掲載し、議員の活動の見える化に取り組んでいる。

上記以外にも、LINEで議会情報を配信しており、若年層への発信意識の高さを感じた。

市民に議員活動を知っていただく取組や市議会だよりを読んでいただくための努力をされていることが伺え、今後の当市議会だよりの編集・発行の参考にしていく。



座学研修

庁舎前にて

